

令和6年度とちぎ農山漁村発イノベーション実践セミナー 第3回現地研修実施状況について

【日程】 令和6(2024)年11月12日(火)
【会場】 株式会社ワカヤマファーム 若竹の杜 若山農場
【受講者】 13名
【テーマ】 農村の地域資源を活かした新たな事業の推進
【講師】 株式会社ワカヤマファーム 代表取締役 若山太郎 氏

事業概要の講義の後に、竹林を見学しながら筍生産や竹林の管理と活用方策、直売所、竹のギャラリー、レストラン等の説明があった。

筍や竹材の販売、「御栗」「筍ごはんの素」等の加工品販売、竹の紙や布製品等への活用も行っている。竹林では、撮影ロケ、竹林キャンプ、筍の収穫体験などを実施しているとのこと。

整備された竹林の中、非日常的な体験を楽しんでもらいたい。特別な事(物)を特別に仕立て、それをいかに見せるか、伝えるかが重要であるとのこと。

今後、「人に来てもらおう・地方の時代」と考え、一人一人の大切なお客様に、最大限のおもてなしをし、お客様が何度も来てくれるようになる取り組みを進めていくとのこと。



(竹林研修)



(御栗)



(メンマ)



(竹のギャラリー)



(竹炭、竹製タオルハンカチ)

【受講者の声】

- 今ある資源を活かすための発想、アイデア、工夫が色々学べた。
- 竹林をどのような考えで育てているのかなどのストーリー、時代の変遷に応じた対応、苦労話、将来展望が聞け良かった。
- 6次産業化を進めるに当たり、加工を自分でやらない方が良い理由、販売先の確保や経営感覚の必要性などの話はとても参考になった。